

2015年度 決算説明会

2016年5月20日



(財)財務会計基準機構会員

1. 関西ペイントグループの状況

2. 経営成績の概況および予想

3. 各分野の状況

4. 各地域の状況

5. 第14次中期経営計画の総括

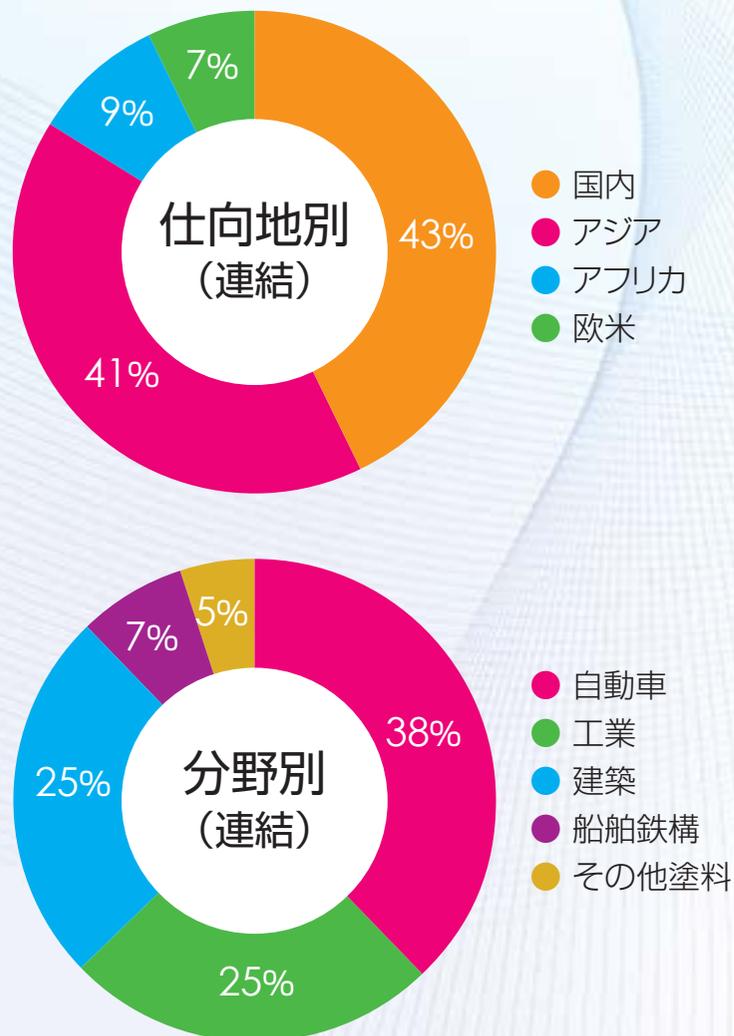
6. 第15次中期経営計画について

2015年度 決算説明会

2016年5月20日

2015年度 連結売上高 3,281億円

設立: 1918年(大正7年)5月
 資本金: 256億円(2016年3月31日現在)
 (発行済株式数: 272百万株)
 従業員数: 12,491名(2016年3月31日現在)



■ 主なグループ会社と売上高 ()内は2014年度 (単位: 億円)

| | 国内 | 海外 | | |
|-------------|----------------------------|------------|----------------------------|----------|
| 連 結 | 関西ペイント販売 (自動車・工業・建築、販売) | 986(1,022) | KNPL(インド) (建築・自動車、製造) | 658(695) |
| | NKMコーティングス (船舶、販売) | 141(111) | KPAL(南アフリカ) (建築・自動車、製造) | 293(395) |
| | カンペ商事 (工業、販売) | 75(79) | TKP(タイ) (自動車・工業、製造) | 142(163) |
| | カンペハピオ (建築、製造) | 66(64) | KABS(トルコ) (自動車・工業、製造) | 172(185) |
| | 他10社 | | 他アジア21社、アフリカ20社、その他3社 | |
| 持 分 法 | 扇商会 (自動車・工業、販売) | 203(236) | 湖南湘江関西(中国) (自動車、製造) | 393(391) |
| | エル・ミズホ (工業、販売) | 45(57) | PKAF・US(米) (自動車、販売) | 160(164) |
| | 他12社 | | 中遠関西(上海)(中国) (船舶鉄構、製造) | 106(119) |
| | | | 他アジア13社、アフリカ4社、その他9社 | |

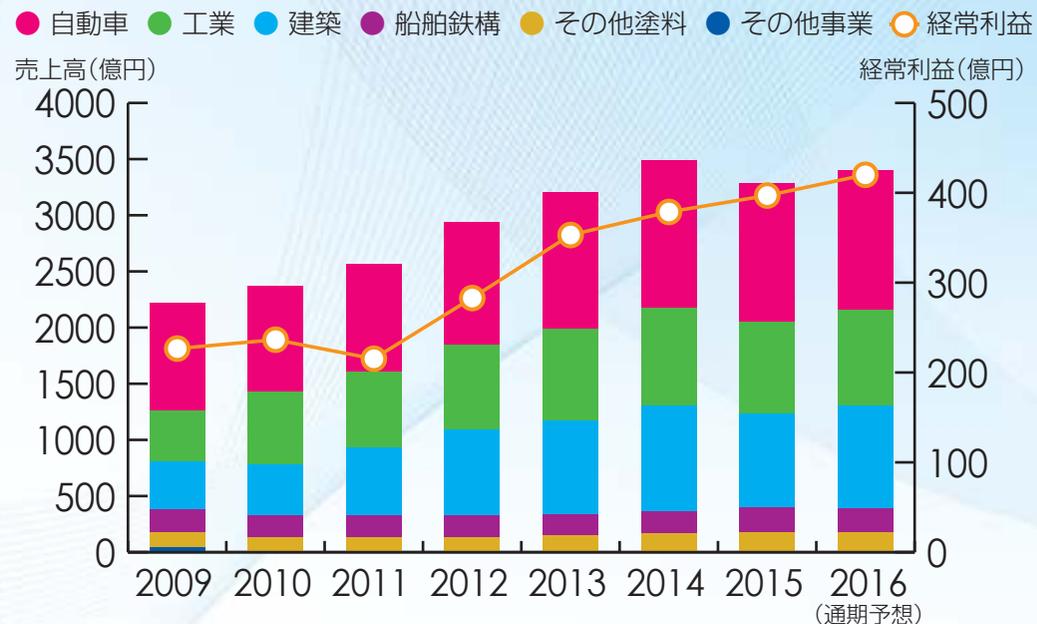
② 経営成績の概況および予想

連結(業績)

■ 通期

| | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 売上高 | 2,224 | 2,369 | 2,565 | 2,940 | 3,204 | 3,493 | 3,281 | 3,400 |
| 経常利益 | 226 | 235 | 214 | 283 | 354 | 377 | 397 | 420 |

前年度比、減収増益 (売上高:△6.1%、経常利益:+5.3%)

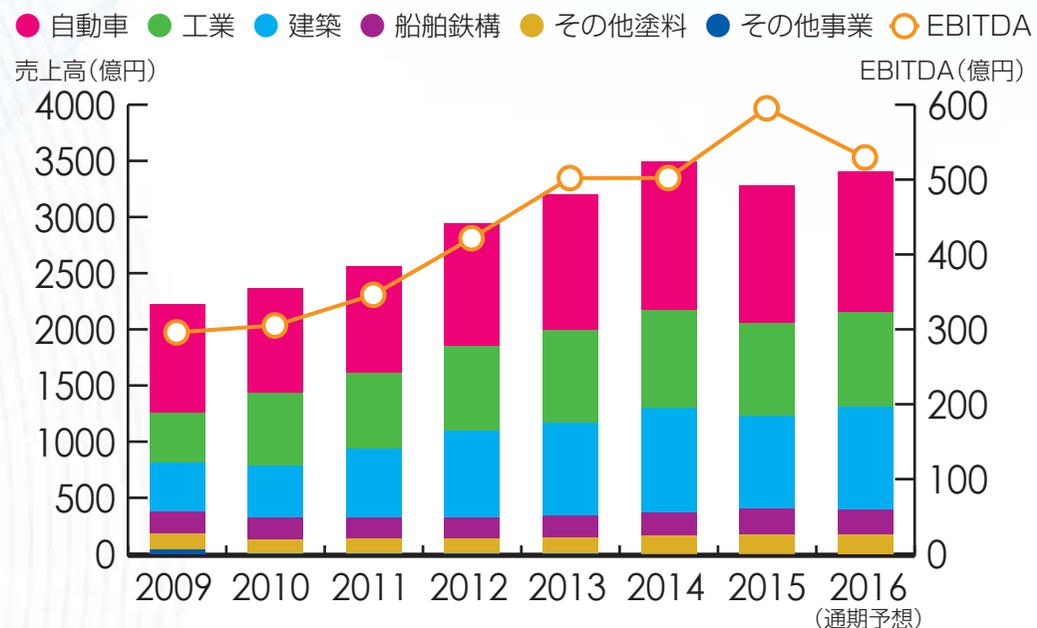


連結(EBITDA)

■ 通期

| | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 売上高 | 2,224 | 2,369 | 2,565 | 2,940 | 3,204 | 3,493 | 3,281 | 3,400 |
| EBITDA | 296 | 305 | 346 | 422 | 502 | 502 | 596 | 530 |

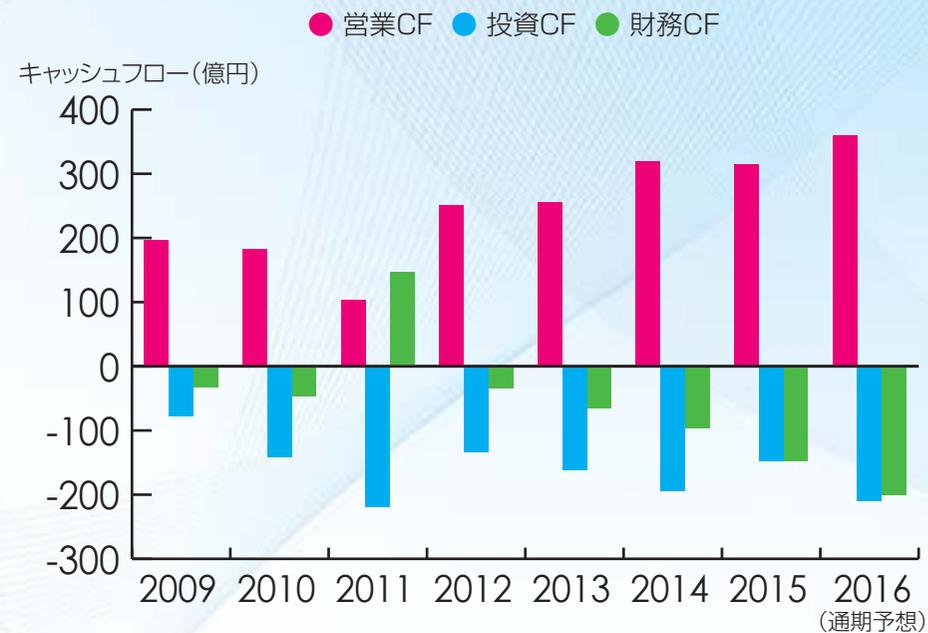
※EBITDAは、税金等調整前純利益から加減算し算出



② 経営成績の概況および予想

連 結 (キャッシュフロー)

| | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 営業CF | 196 | 183 | 104 | 251 | 255 | 319 | 314 | 360 |
| 投資CF | -77 | -142 | -219 | -134 | -161 | -195 | -147 | -210 |
| 財務CF | -32 | -47 | 147 | -34 | -65 | -96 | -148 | -200 |



国内自動車塗料(補修用を除く)

- 自動車生産台数は前年を下回ったものの、塗料輸出等の増加もあり前年比横ばい
- ▷ 国内自動車生産台数は前年比横ばいのなか、原油価格の下げ止まりによる価格是正もあり前年比減収を見込む
- ▷ 2016年度国内自動車生産台数は920万台を見込む

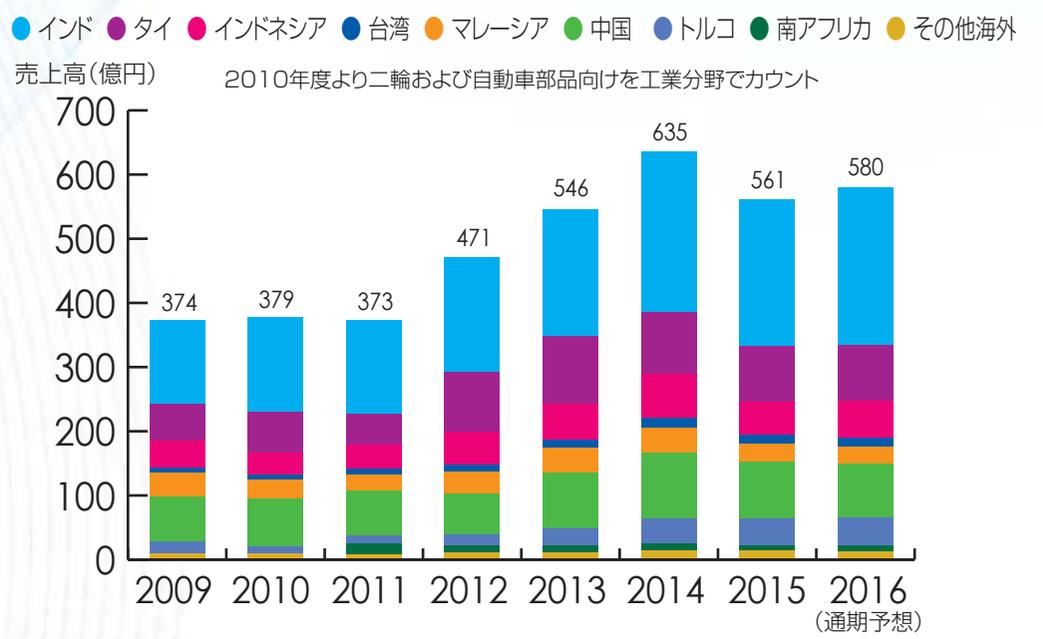
連結売上高(補修用塗料を除く)



海外自動車塗料(補修用を除く)

- インドは、主要顧客の自動車生産の増加により前年比増収
- インドネシアは、自動車生産の減少により前年比減収
- タイは、自動車生産の本格回復にはいならず前年比減収
- ▷ 中長期的には、自動車生産の増加による需要拡大を見込む
- ▷ 欧米系自動車メーカーへの参入・拡大を更に加速させる

連結売上高(補修用塗料を除く)



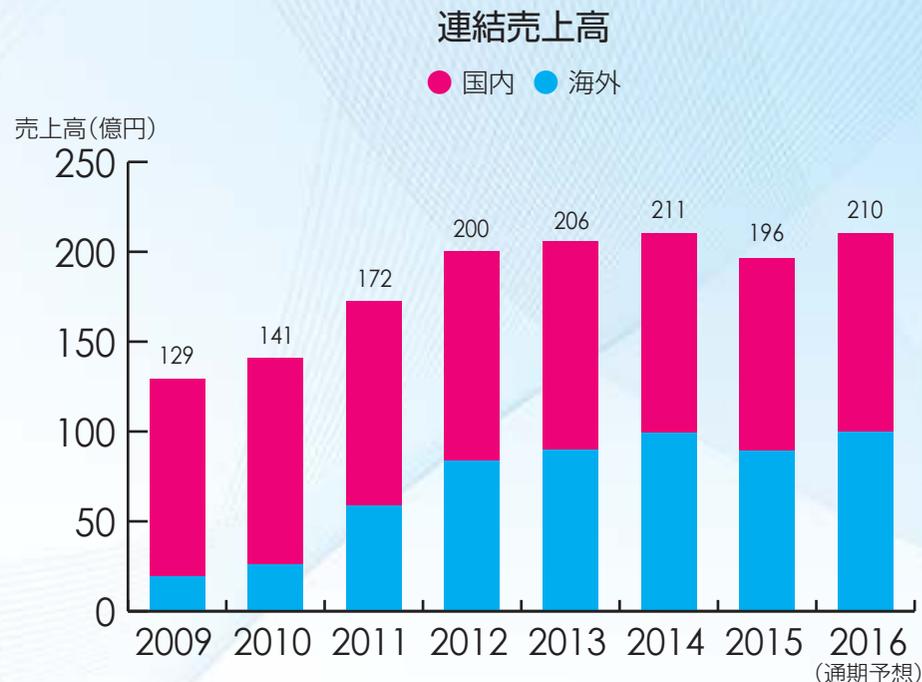
自動車用分野(補修)

■ 国内

- 環境配慮型塗料の展開などにより拡販促進も、需要低迷により前年比減収

■ 海外

- アフリカは、経済成長は低水準ながらも現地通貨ベースでは前年比増収も、為替換算の影響が大きく円ベースでは前年比減収
- ▷ 新興国での参入・展開を加速させていく



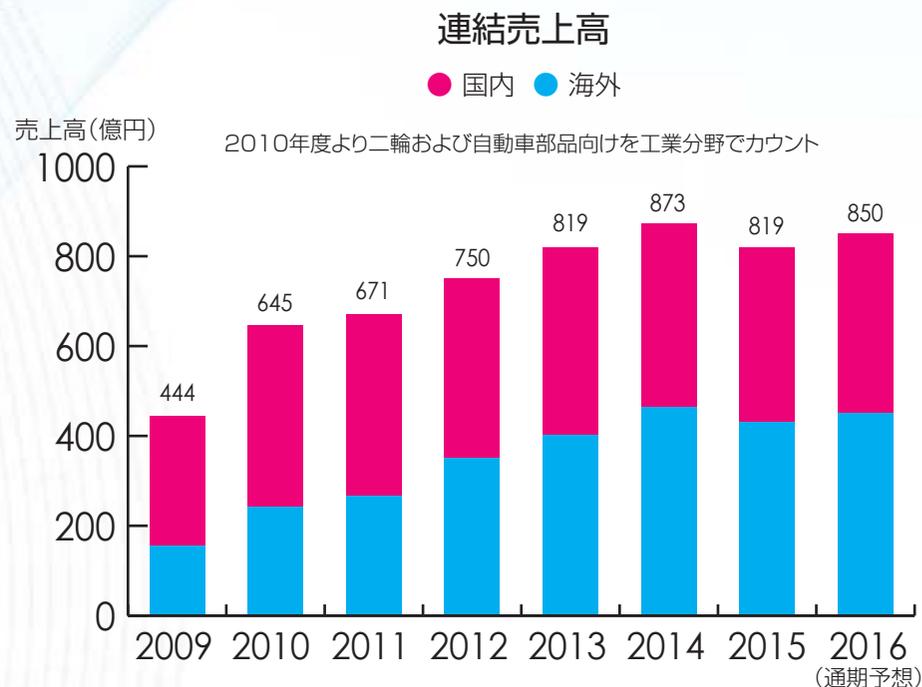
工業分野

■ 国内

- 建設機械向け等の需要減速が影響し、前年比減収
- ▷ 競争力強化によるシェア拡大を目指す

■ 海外

- インドでの日系メーカー向け拡大等、新興国を中心に売上が拡大し、現地通貨ベースでは前年比増収
- ▷ 海外シフトする日系メーカーの需要獲得に加え、新たな顧客の需要獲得を目指す



建築分野

■ 国内

- 市況回復の兆しが見え始めたものの本格的な回復にはいたらず前年比微増
- ▷ 市場ニーズに対応した製品の市場投入・拡販を展開し、売上拡大を目指す

■ 海外

- インドは、経済成長に伴い、現地通貨ベースでは前年比増収
- アフリカは、南アフリカ経済低迷により需要が停滞し売上は伸び悩む
- 各国において為替換算の影響も大きく前年比減収
- ▷ インド、アフリカ、マレーシア、インドネシアなど展開地域での需要拡大、および展開地域の拡大を目指す

船舶鉄構分野

■ 国内

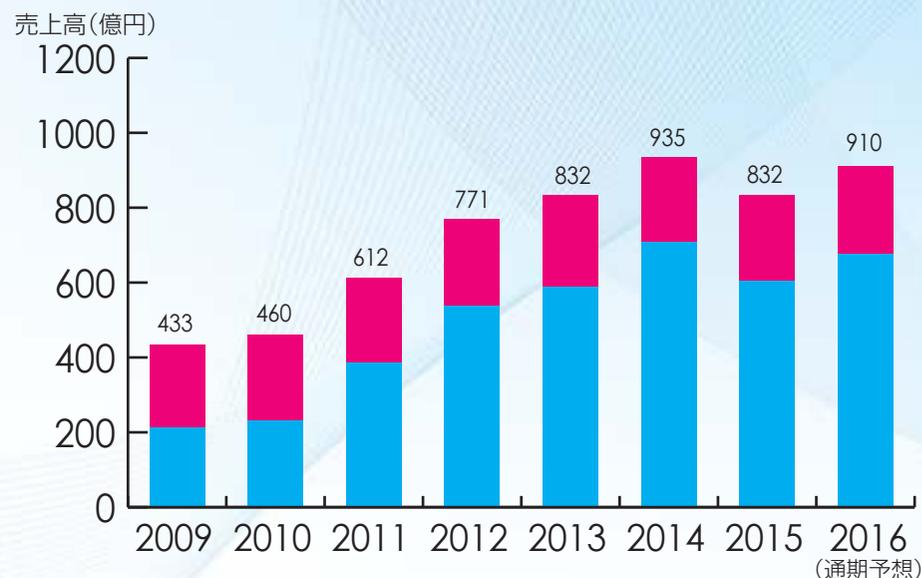
- 船舶分野は、造船市場の回復に加え、低燃費型塗料の拡販に努め前年比増収
- 防食分野は、設備投資の持ち直しもあり、市況回復の兆しが見え始めたものの本格的な回復にはいたらず前年比横ばい
- ▷ 国土強靱化計画、東京オリンピック開催などに向けた投資需要の獲得を目指す

■ 海外

- ASEAN地域での事業拡大により前年比増収
- ▷ 新興国でのインフラ整備に伴う防食塗料での参入・展開を目指す

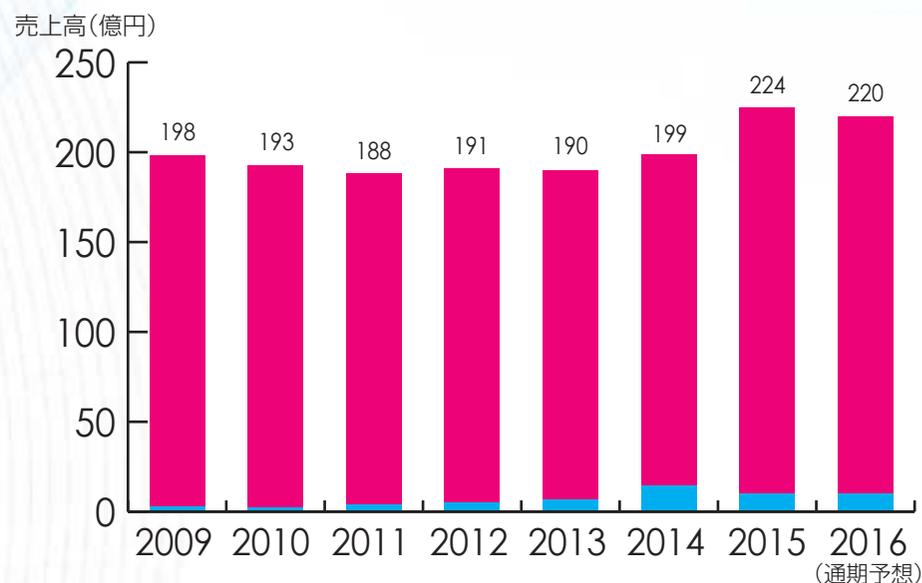
連結売上高

● 国内 ● 海外



連結売上高

● 国内 ● 海外



インド・カンサイネロラックペイント(KNPL)社

- 自動車分野は、主要顧客の自動車生産増加により現地通貨ベースでは売上伸長
- 建築分野は、経済成長による需要拡大が継続し現地通貨ベースでは売上伸長
- これらにより業績拡大も為替換算の影響を受けた
 - ▷ 今後も自動車、建築分野とも引き続き需要拡大を見込む
 - ▷ 引き続き需要拡大に対応する生産体制の整備を計画
 - ▷ スリランカ、ネパールなど周辺国への事業拡大を進める

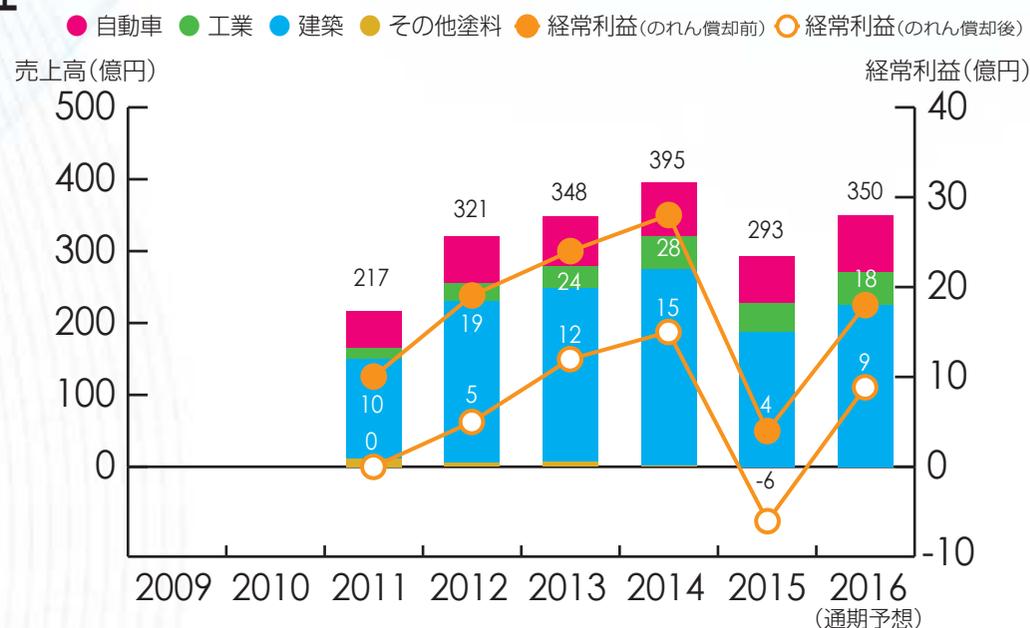
インド・KNPL社の業績推移と予想



南アフリカ・カンサイ・プラスコン・アフリカ(KPAL)社

- 南アフリカおよび近隣諸国の経済が低迷し需要が伸び悩むなか、販売活動の促進などに努めるも、為替換算の影響も大きく前年比減収
- ▷ 建築分野を中心に販売活動の促進をより活発化させ、売上拡大を見込む
- ▷ 中長期的には、未展開地域・国への市場参入を図り、アフリカ経済の成長に伴う業績拡大を見込む

南アフリカ・KPAL社の業績推移と予想



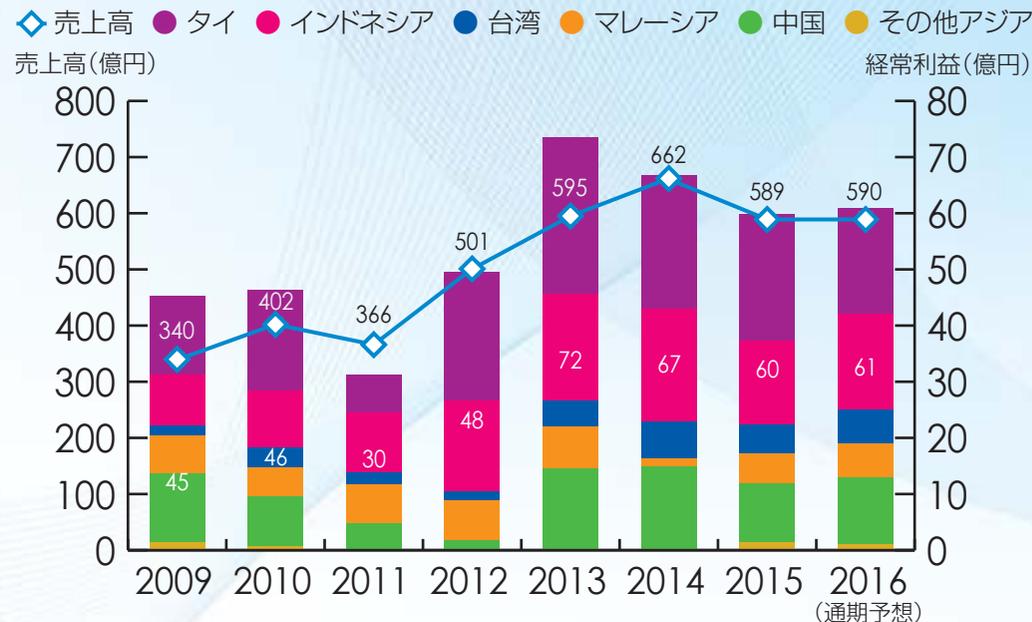
アジア連結子会社経常利益

- タイは、自動車生産の本格的な回復にはいならず売上は伸び悩み、前年比減益
- インドネシアは、自動車分野は生産台数減少により前年比減益、建築分野は売上は伸び悩むもコスト改善により前年比増益
- 中国は、自動車分野では小型車への優遇税制導入などの効果があったものの、建設機械向けの需要低迷などにより前年比減益
- ▷ 各国とも経済成長は鈍化してもなお伸長は続き需要の拡大による事業拡大を見込む

欧米連結子会社経常利益

- トルコは、自動車分野、工業用分野ともに売上が伸長したものの、為替変動の影響などにより前年比減益
- ▷ 経済の先行き不安はあるものの、引き続き需要拡大を見込む

アジア連結子会社の業績推移と予想



欧米連結子会社の業績推移と予想

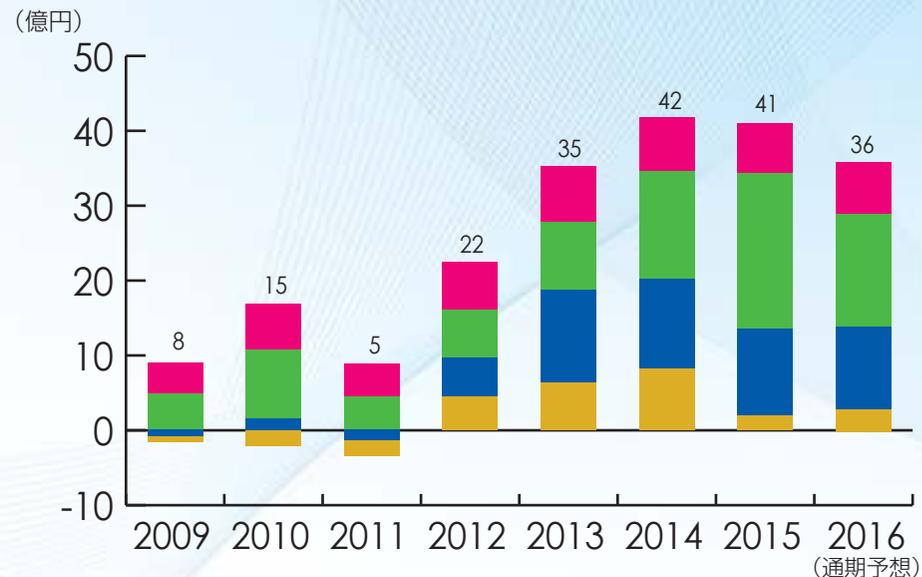


持分法利益

- 国内は自動車生産台数の減少などの影響を受けるも前年並み
- 中国は非日系自動車事業の伸長などにより前年比増益
- 欧米は欧州での自動車生産台数の伸び悩みなどにより前年比減益
- ▷ 中国での非日系向け自動車事業の拡大が続くものの、コンテナ市場の伸び悩みなどを見込み減益

持分法利益(単純合算)

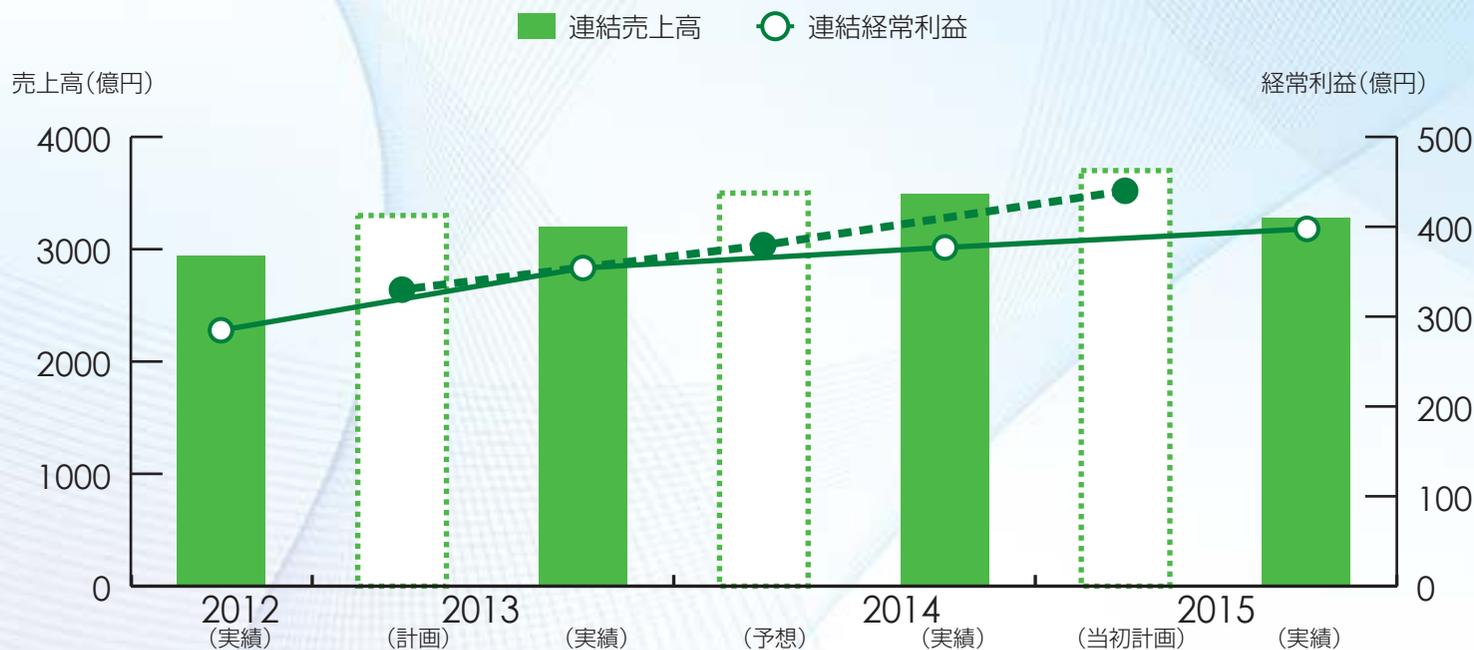
● 国内 ● 中国 ● 欧米 ● その他



重点施策として掲げた3テーマをもとに、各取り組みを実行した。

| 重点施策 | 内 容 | これまでの進捗状況など |
|-------------|--|--|
| グローバル化の加速 | <ul style="list-style-type: none"> ① 新興国を中心とする海外事業の拡大 ② 未参入地域・分野での事業展開 ③ 市場ニーズへの対応 (コスト・品質の最適化による競争力強化) | <ul style="list-style-type: none"> ○ ジンバブエ アストラインダストリーズ社の株式取得 ○ メキシコ DNT KANSAI メキシカーナ社設立、営業開始 ○ マレーシア PLCラボラトリー社の株式取得 ○ 中国 肇慶関西聖聯粉末塗料科技社設立、営業開始 ○ ミャンマー 関西ペイントミャンマー社設立 ○ スリランカ 関西ペイントランカ社設立 ○ 需要増に対応する生産体制の整備 |
| 収益力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ① 海外は事業規模拡大と効率向上による利益拡大 ② 国内はトータルコストの低減と競争力強化 | <ul style="list-style-type: none"> ○ シェアアップ、非日系顧客への事業展開に向けた取り組みを推進 ○ マンチェスター・ユナイテッドを活用したプロモーション活動推進 ○ 国内事業の抜本的収益改善を行なうプロジェクトを推進 ○ 国内拠点体制の見直し ⇒東地区物流・カラーセンター機能の集約拠点の操業開始 ⇒尼崎事業所の再整備を実施 (関西地区の物流・カラーセンター集約拠点を尼崎事業所内に設立完了) ⇒福利厚生施設土地を売却 |
| グループ経営基盤の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ① 経営資源の共有化と有効活用によるシナジー最大化 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 技術、調達、製造、マーケティングなどのグローバル経営リソースを共有化するワークチームによる活動を強化 ○ グローバル化に対応する体制構築を推進中 |

新興国経済の一時的な成長鈍化と為替換算の影響が大きく、
最終年度実績は当初計画から未達成となった。



■ 連結

| | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 実績 | 実績 | 実績 | 当初計画 | 実績 |
| 売上高 | 2,940 | 3,204 | 3,493 | 3,700 | 3,281 |
| 経常利益 | 283 | 354 | 377 | 440 | 397 |

6 第15次中期経営計画について

グローバル企業の再編の動きが加速。今後、地域を越えた再編の動きも出てくる可能性も高い。
結果、塗料市場はグローバル企業での寡占化が進む。

このなかで勝ち残るためには、真のグローバルカンパニーになる必要がある。



目指すは、グローバルレベルで競争力のある会社

継続的な イノベーションへの挑戦

- 顧客ニーズを満たす製品開発
- 最適なビジネスモデルの構築
- 常に変化に対応する企業体

事業競争力

- 選ばれる製品力(トータルQCD)
- 高い収益力
- 高い効率性
- 高いブランド力

グループ内連携

- 地域・国の垣根を超えたコミュニケーション
- お互いを認め、助け合う企業文化
- グループ内経営リソースの有効活用

真のグローバルカンパニー



KANSAI PAINT

事業成長力

- 成長期待の高い市場でのプレゼンスを持つ
- 総合塗料メーカーとして、全ての市場分野で事業展開
- 新たな事業分野、地域への積極的な展開

パートナーとの 融合

- 長期ビジョンの共有
- お互いの強みを活かす関係
- 現地化の推進

大変革期の塗料市場のなかで戦う自覚を持ち、

『挑戦』と『変革』を続け、

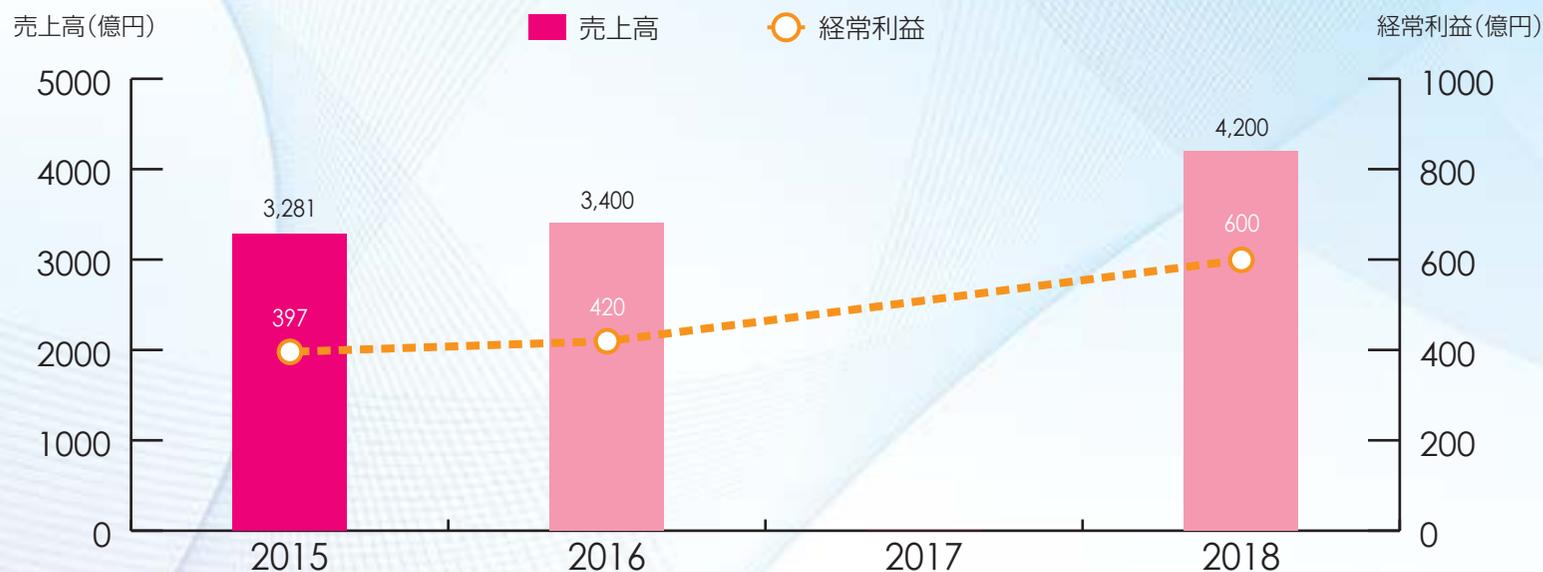
真のグローバルカンパニーを目指す

以下の重点施策に基づき、事業計画の達成を目指す

| 重点施策 | 主な内容 |
|--------------------|--|
| <p>グローバル化の加速</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 既存市場での事業拡大、強化 ○ 新規市場、分野への参入 |
| <p>収益力の向上</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ シェア拡大による収益力のアップ ○ 効率化、最適化によるコスト低減 |
| <p>グループ経営基盤の強化</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ グループ内資源の共有と活用推進 ○ ヘッドクォーター機能確立、組織構築 ○ 世界7極の各地域内の統合、統括機能の確立 |

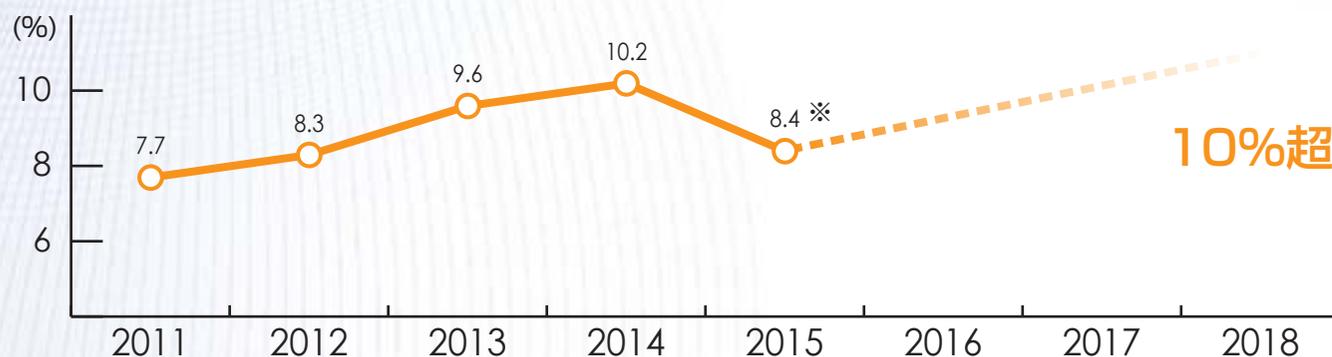
1. 業績計画

事業規模の拡大と収益性の強化の両立を目指す。



2. ROE目標

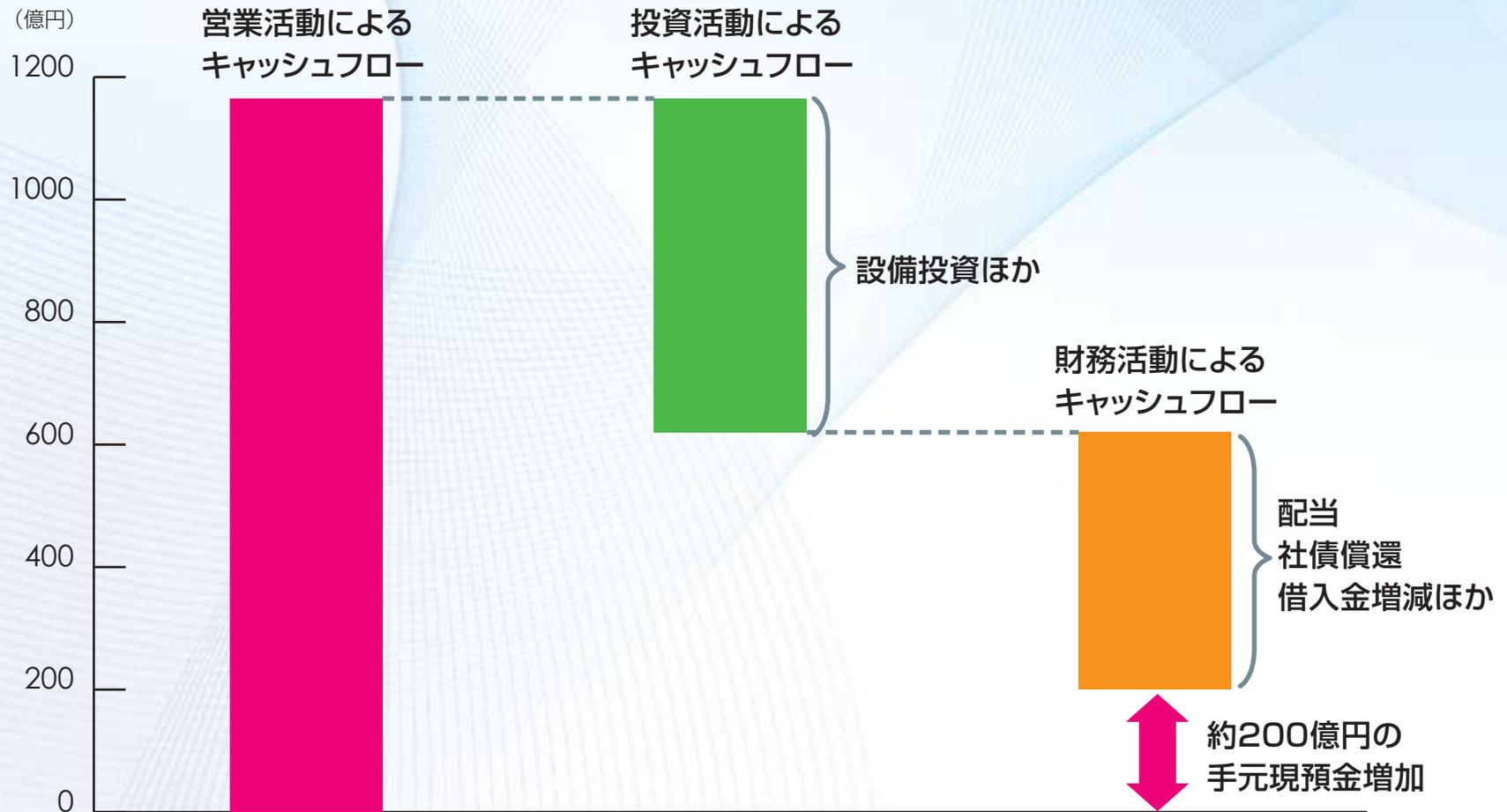
加えて、企業価値の向上を目指し、中計最終年度で10%超の水準を目指す。



※2015年度は、インド土地売却に伴う特別利益を控除した数値

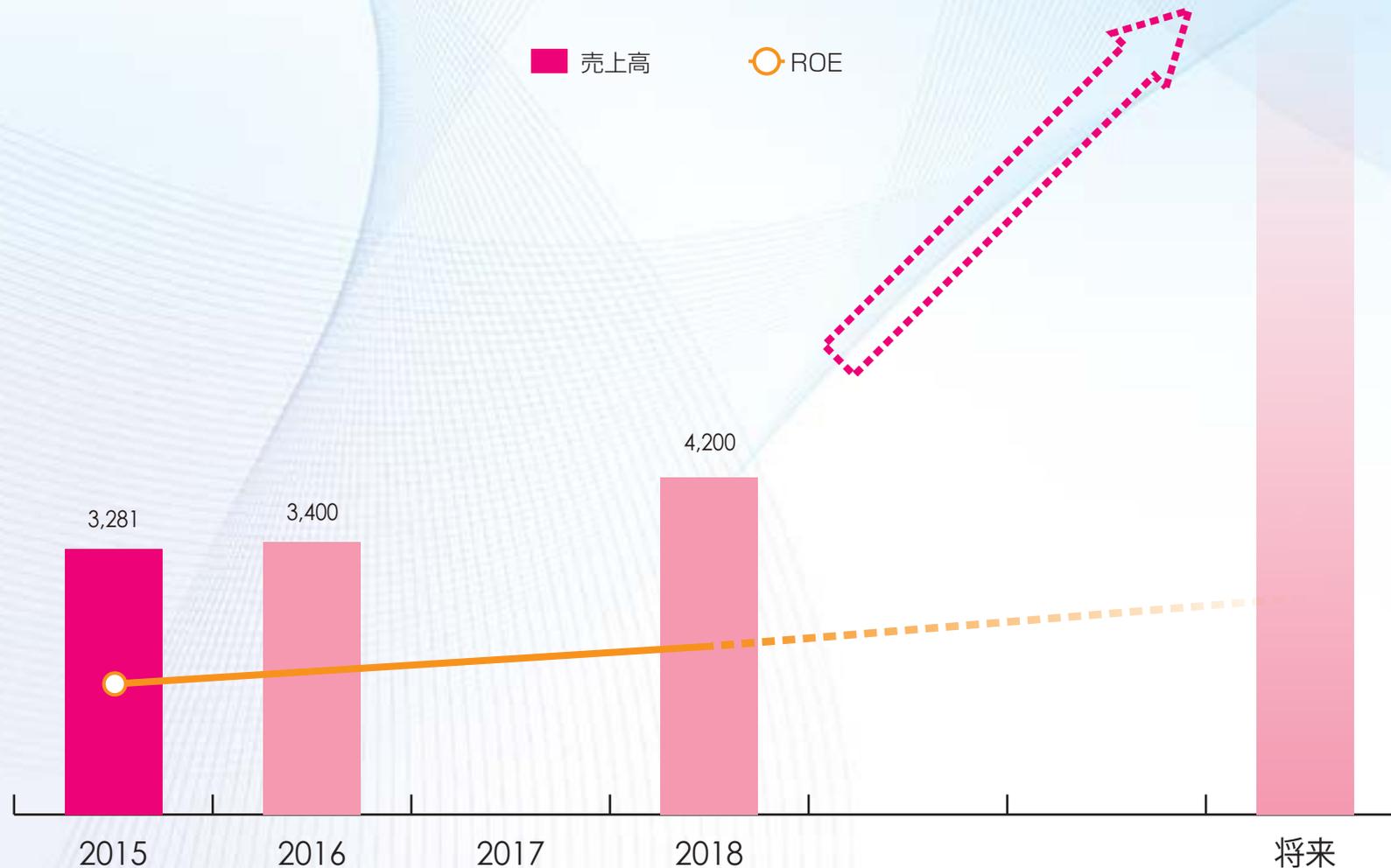
3. キャッシュフロー計画(3ヶ年累計)

創出したキャッシュは、戦略的な成長投資へとまわし、更なる事業拡大を目指していく。



4. 将来像(ありたい姿)

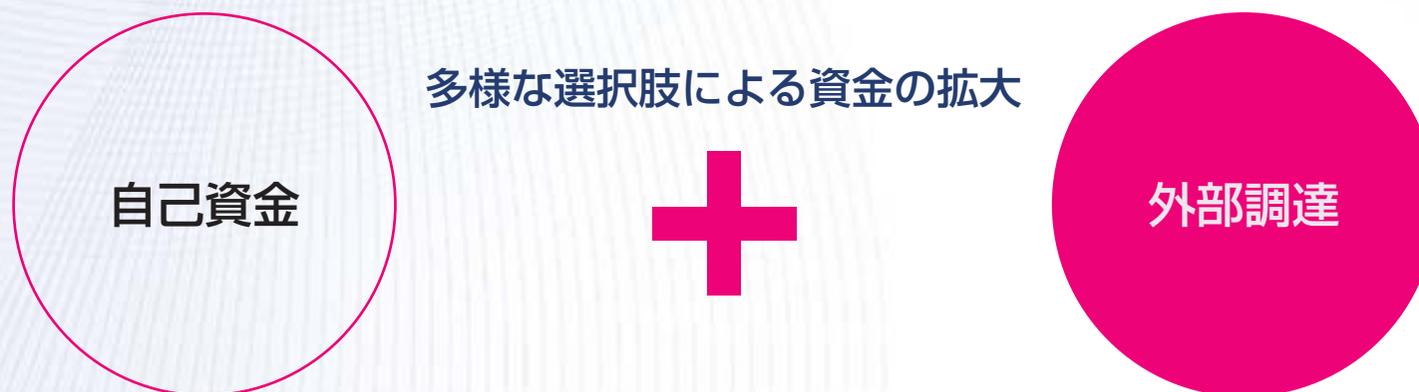
最適な投資とシナジーによりグローバル競争力を高めていくことで、事業規模の拡大と利益率の向上を進め、塗料業界 No.1を目指す。



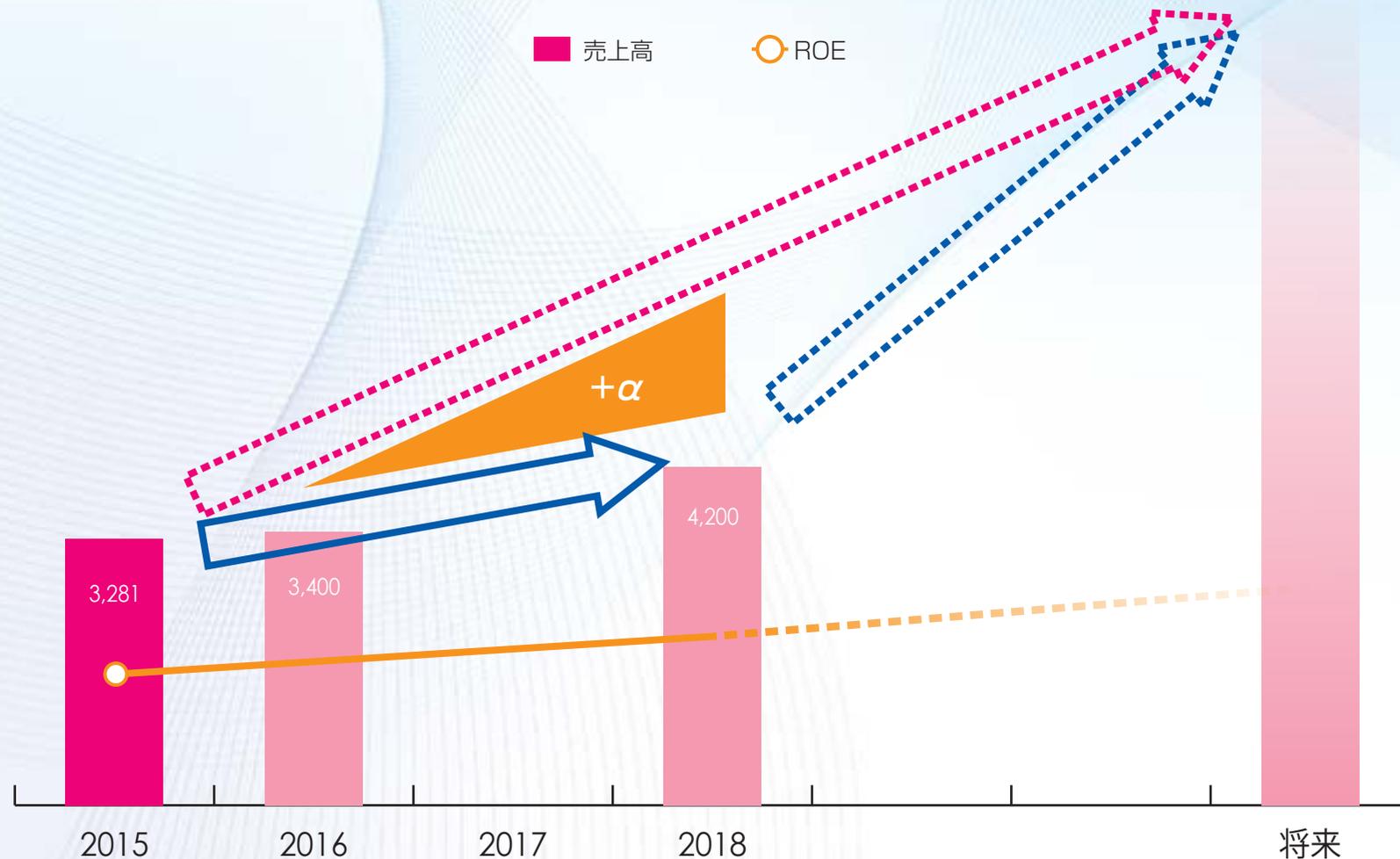
塗料業界 No.1になるためには、スピードが必要。
既存の枠組み、自社単独での成長以外の手段も組合せた検討を続ける。



そのための原資も財務健全性の確保と企業価値の向上を基本方針として、
市場動向を鑑みながら多くの選択肢を検討、活用していく。



ありたい姿の達成を加速するためには、15中計期間での $+ \alpha$ も視野に入れている。
この $+ \alpha$ には、1,500億円程度の投資価値があると考える。



関西ペイントは貢献します

塗料事業は成長産業です

総合塗料メーカーとして、世界のマーケットで

競争力の高い製品を提案し、お客様の満足に引き続き

そして

真のグローバルカンパニーを目指します



ALESKO

関西ペイント株式会社

この資料に記載されている業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれているため、実際の業績が予想数値と異なる可能性があります。